

パターンの充実にあたり、「パターンをどのような場面でどう使っていくのか」が重要であり、基本計画「第4章 景観づくりの推進に向けて」で示した取り組み方も参考に、使い方とそれに即した充実の方向を検討する。

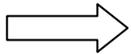
1. パターンを使う目的と、それに即した充実の方向

(1) 「学習し、理解する」

生駒の景観について学習し、景観形成への理解を深める

<参考：第4章との関連>

- 「意識付け」：景観学習・教育を進める、生駒らしい景観づくりの考え方を広める など



パターンの内容が読みやすく、分かりやすくなるよう充実する

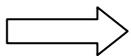
- ・パターンの文言を整える（大人（女性）や子どもにも分かるように）
- ・写真・スケッチを増やす
- ・コラムなどを充実させる など

(2) 「身近にできるアクション」

身近なところから考え、取り組むためのきっかけを得る

<参考：第4章との関連>

- 「身近なまちの特徴に応じた景観づくり」：自分の敷地や建物でできる演出を考える、隣近所で協力してできる演出を考える など



本編のパターンの説明中に、関連した取り組みのヒント（ソフトの活動含む）を示す

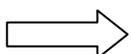
- ・すぐに取り組めるようなこと
- ・気軽にできること
- ・活動の事例 など ※（3）だけだと市民等には縁遠くなってしまう

(3) 「建築等の際の活用」

実際に建物等を建てる、改修する際に景観に配慮したものにする

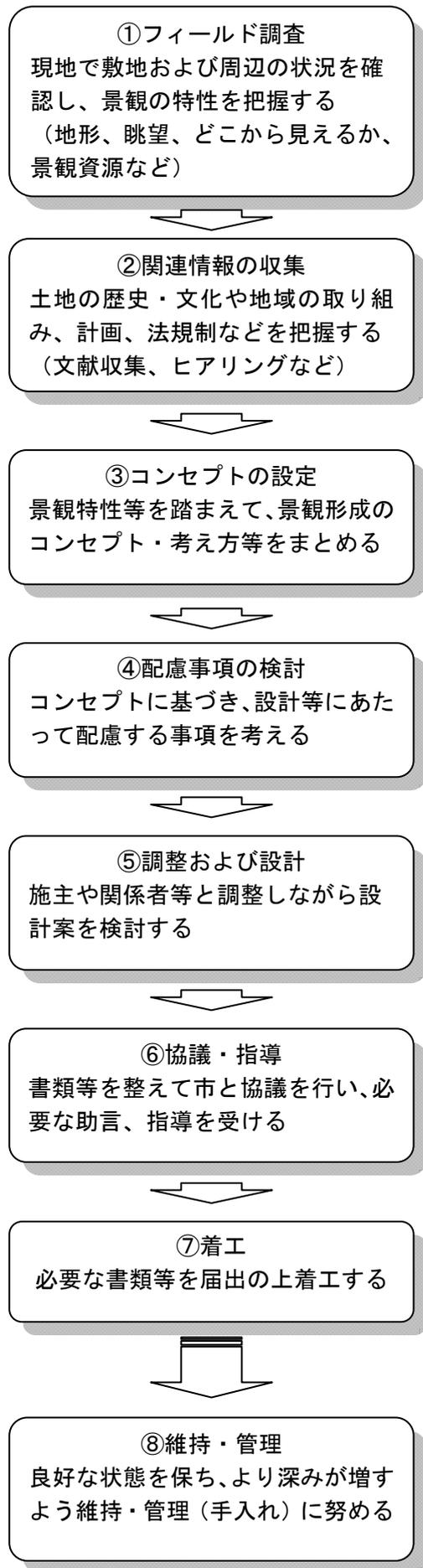
<参考：第4章との関連>

- 「身近なまちの特徴に応じた景観づくり」：新築・建て替え・改修時に通りとの関係を意識する
- 「誘導」：地区の特性に応じた景観づくりを誘導する（景観配慮地区など）



本編のパターンの説明とは別に、パターンに即したデザイン例を示し（デザインガイドとして）デザイン協議等に活用する

2. 具体的なパターンの使い方（手順） ※前述の（3）を想定



敷地や周辺がどのような景観の特性を持っているのかを読み解いていく。

- 「景観の構成原理」に沿って、どのパターンが該当するかを抽出する。
 - 理解しにくい場合は、前段の「第2章 景観形成の基本理念と生駒らしい景観」を参照してもらう。
 - 市で、参考文献を紹介したり、景観アドバイザーのまちなみづくり相談を紹介したりといった支援を行う。
- ※課題①：実際に協議に臨むには、市でも相応の情報収集や学習が必要となる。どう行っていくか（参考：真鶴町では職員が現地を確認している）。

パターンを用いて、具体的な配慮事項等を考えてもらう

- どのパターンを使って、どう工夫したかを書いてもらう（チェックシート？協議シート？）。
 - パターンのつながり等も考慮する（パターンを用いたコンセプトの文章（センテンス）化）。
 - 市で、ガイドラインを用いて事例を紹介したり、景観アドバイザーのまちなみづくり相談を紹介したりといった支援を行う。
- ※課題②：パターンの望ましい使い方をどう考えるか。（例えば、使うパターンが多いほど良いのか、など。協議の中で積み重ねるしかないか？）

着工に向けた手続きを行う

- パターンを用いた配慮事項をチェックし、必要に応じて助言・指導を行う。
- ※課題③：パターンを用いた配慮事項を確認するための手法、手続きをどうするか。
協議の任意事項ではモチベーションにならないが、規制的側面を持たせるのはなじまない。どう活用してもらうか。また、条例などで位置づけるのか否か。（参考：真鶴町では協議シートを作成している）
協議の結果に基づき協定を結ぶことも考えられる。
- 別途、景観計画の届出も行う（最低限基準として）。
- ※課題④：パターンを用いた配慮事項と、景観計画の基準との関係をどう整合させるのか。
（パターンに基づく協議の後、景観計画の基準の審査を行う）

パターンを使った事例として蓄積する

- 良好な事例については積極的に紹介する（ホームページ、市広報、賞など）
- ※課題⑤：設計段階のコンセプトや配慮事項をどう継承していくのか。
（設計・協議段階の図書の保管を義務化？）

参考：景観パターンの一覧

都市：都市の骨格要素と敷地や建物の関係性を示すパターン

地域：地域内の景観要素と敷地や建物の関係性を示すパターン

通り：通りに沿った景観要素と敷地や建物の関係性を示すパターン

敷地：敷地内の景観要素間の関係性を示すパターン

時間：時間に関わる景観要素と敷地や建物の関係性を示すパターン

表 生駒らしい景観パターン

	パターン	景観の構成原理				暮らしの営み
		地勢	歴史文化の文脈	地域性		
				市街地開発の文脈	界隈の空気	
都市	1 生駒山への意識	○	○	○		
	2 生駒山の信仰と世俗の境界領域	○	○			
	3 緑に溶け込む建物	○		○		
	4 屋根並みに浮かぶ緑の島	○	○	○		
	5 見晴らし	○		○		
	6 川筋の見通し	○				
	7 高低差の尊重	○				○
	8 曲がった道	○				○
	9 坂道	○				○
地域	10 顔の空間			○	○	
	11 人が交わる場所		○	○	○	○
	12 農の風景		○			○
	13 伝統産業の風景		○			○
	14 聖なる場の威厳		○			○
通り	15 通りのプロポーション			○	○	
	16 人の尺度		○		○	○
	17 しきりとつなぎ		○	○	○	○
	18 にぎわいのにじみ出し				○	○
	19 統一と絞り込み				○	
	20 連歌式			○	○	
	21 期待感		○		○	
敷地	22 用の美		○			○
	23 表出する緑			○		
	24 アクションできる余地					○
	25 生駒石		○			
時間	26 仮設の風景					○
	27 移ろいの風景					○
	28 記憶の風景					○